

米国コロラド州  
佐々木明が滑る  
**Colorado**  
Rocky Mountain Trip

@AKIRA # SKI # FUN # FUN # My favorite Mountains # COLORADO



Where to Skiing Now

連なる白き山々へ  
高鳴る鼓動  
天空のサンクチュアリへ誘う  
旅の始まり



高校1年で初めて訪れた、  
米国コロラド州カッパーマウンテン。  
同じ日本人で、自分より速く飛ばす  
スキーがいることを知ったブレッケンリッジ。  
アルペンレーサーとして  
世界を転戦し続けた冬。  
そして、今ふたたびの旅は  
スキー、  
佐々木明として。

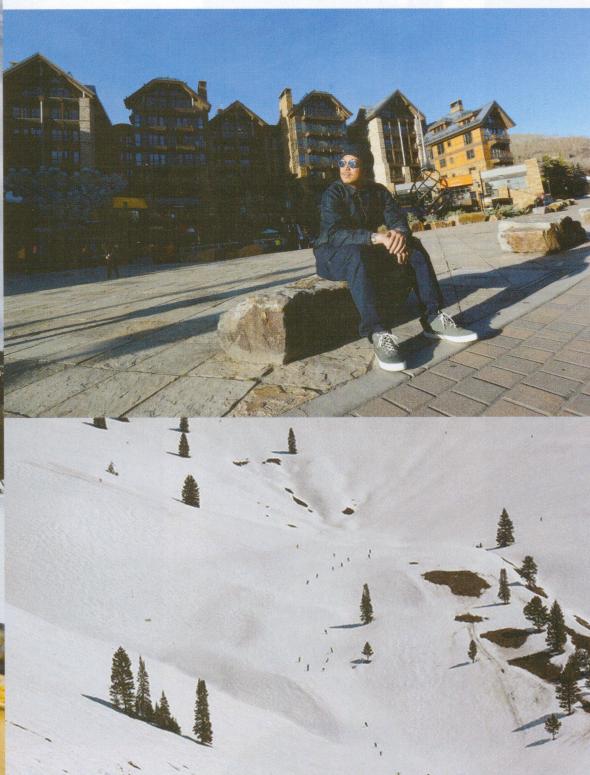


Special thanks ▶ ユナイテッド航空 コロラド州政府観光局 デンバー観光局 ヴェイル観光局 スノーマス観光局 アスペン観光局 / Skier ▶ 佐々木 明 / Photo ▶ 木下健二 スキージャーナル



Colorado Trip 1st day  
Vail Resorts

ベイル www.vail.com



Akira's  
アメリカでのスキーは計り知れないサービスと、エンターテイメントに尽きる。訪れる人それぞれを楽しませることができるのは、自分自身が楽しいことを心からわかっているから。とにかくダイナミックで、トレイルが広くて、ヨーロッパなどの歴史はない代わりに、日本で言う「おもてなし」が上手。リフト乗り場では、「行ってらっしゃい」と送り出してくれるし、山頂で降りるときは「最高の1本を滑ってね」と迎えてくれる。それに、とにかくベイルは広い。だから自分にとっては、とてつもなく広いテーマパークみたいだと感じた。自然のなかなのに、見えないように効率良いシステムは整っているし、楽しいだけじゃなくて危険なところもあるよって、それもきちんと知らせてくれる。自己責任はスカルプマークでね(笑)。さらに街には高級なものから一般的なものまでそろっていて、あらゆるジャンルの層に適した、衣・食・住が選べるのがすごいよね。イメージを裏切らないアメリカン・スキーイングがここにある!

ベイル出身のアルペンレーサー、ミカエラ・シフリン選手。2014年ソチ冬季五輪金メダル、2015年アルペングループ世界選手権ビーバークリーク大会で、回転競技を制した彼女との偶然のうれしい再会

成田からユナイテッド航空のドリームライナー（ボーイング787）直行便で約10時間半。白銀の山並みを模したというデンバー国際空港に到着する。4つの国立公園がある自然豊かなこの地は、四季をとおしてアウトドアスポーツが盛んなことで知られている。現在は26カ所もの全米屈指の一流スキーリゾートを有し、国内外から年間1,100万人を迎えるコロラド州へ、スキーヤー、佐々木明が出発。

アルペングループを夢見るキッズやジュニア世代に、「アルペングループを一所懸命練習してがんばれば、世界中に旅ができるってことを教えてあげたい。それがレースであっても、スキーヤーとしての仕事であつたとしても」。そんな思いもあり、彼のコロラドの旅は始まった。

まず訪れたのは、州を代表する「ベイル」と「ブレッケンリッジ」。それぞれが独自の特徴を持ち、世界中からスキーヤーが集まる一流のスキーリゾートである。全米のスキー場を代表すると言つても過言ではない「ベイル」。

デンバー国際空港から車で約2時間

標高4,000メートルを超える山々が連なるアメリカ中西部コロラド州。ロッキー山脈のなかでも、もっとも標高い位置にこの州はある。その州都デンバーは、ゴールドラッシュの西部開拓時代を彷彿とさせる街並みと、近代的な建築物がみごとに共存している街である。

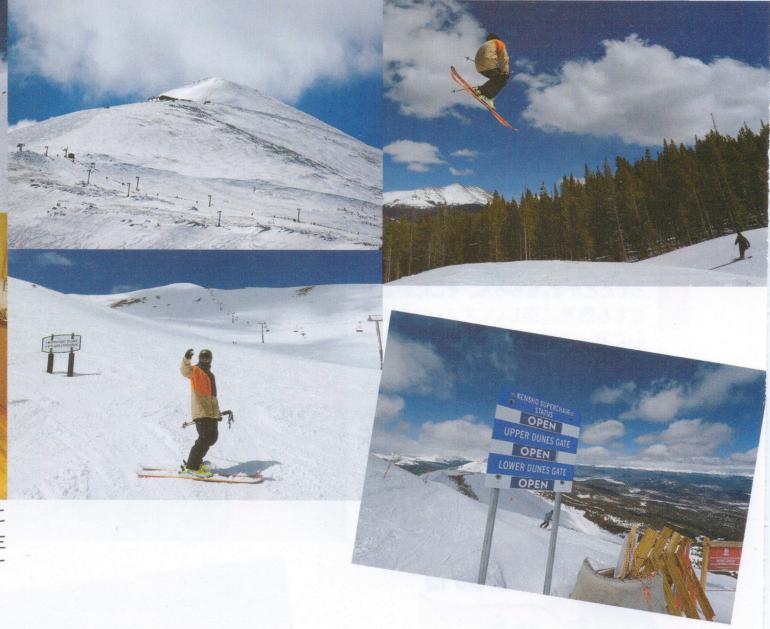
標高4,000メートルを超える山々が連

ただ温かいミルクも、ここでは極上のミルクに変わるベイル・マジック。米国屈指のセレブリゾートは、最上級のおもてなし上手



Akihisa's Voice

ブレッケンリッジは標高も最高に高い。だから久々に頭がぐらぐらしたな。だからコロラドに来たら、3日間だけは毎日ミネラルウォーターを欠かさず2Lは飲んでほしい。その間に身体は標高に慣れてくれるから。と、水を片手に出かけた「ブレッケンリッジ」。1859年にブルーリバーで金が発見され、ゴールドラッシュで栄えた街。そして1961年にスキー場が建設され、しだいに規模を大きし、今では5つの山に広がる大きなスキー場となっている。ベースの標高が2,926m、山頂は3,963m。コースの半分以上が上級者コースのブラックダイアモンド。富士山よりも標高が高い山。そこにあるパークを飛んで飛んで、久々に飛びすぎた! と言うほど楽しんだ。酸素が欲しいと思うくらい遊ぶのが自分のスタイル。コロラドで忘れてはいけないのが水と広い山で迷わないといためのマップ、心得よう。



## ソンネナルプ リゾート オブ ベイル Sonnenalp Resort of Vail

<http://www.sonnenalp.com>  
20 Vail Rd, Vail, CO, 81657, US

長い歴史と、ヨーロッパを彷彿とさせる重厚な趣のある3つ星ホテル。ホテル内にある3軒のレストランやルームサービスは、どれも健啖家の舌をうならせるほど の味。室内にはミニバーや暖炉もあり、のんびりとできる。また、

深い浴槽とシャワーブースのあるバスルームではリラックスできることだろう。専用のベランダからはイルミネーションに飾られた街並みを見ることができる。ホテル前からはシャトルバスを利用してゲレンデに行くことができる



Colorado Trip 2nd day

## Breckenridge

ブレッケンリッジ <http://www.breckenridge.com>

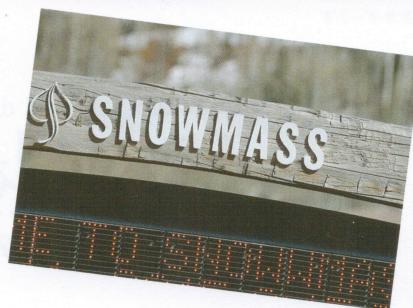
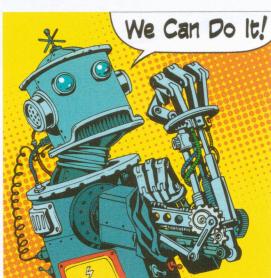
半。スキー場とは思えない高級ホテルにショッピングエリア。その目前に果てしなく広がる雄大なゲレンデ。もちろんパウダーは最高だが、グルーミングされたゲレンデを最大限のカービングでハイスピードで滑る醍醐味が、たまらない魅力だという。そして「ブレッケンリッジ」。おそらく世界中で一番早くオープンするというこのパーク。そこに集まる世界中からのスノーフリークたち。ここでは思いっきりパーカーの楽しさを堪能してほしい。そう、アメリカでのスキーはどこよりも自由なのだから。

## アスペンでは最大規模を誇る遊び心満載のスノーエリアで童心に帰つて遊ぶ



Akira's Voice

現実逃避、アメリカってそういうことを実現してくれる大きなテーマパーク。自分は海外生活が長いから日本の良さもわかる。アメリカはまた別の楽しさがたくさんあって。山の横幅が広いぶん、スキーの楽しみもたくさんあるってことかな。もちろん、そこにいる人たちも最高に楽しい。スノーマスは童心に戻って遊ぶといいね。リゾートの街もイルミネーションで飾られていて、食事も美味しいし。こんな山奥なのに感激する、新鮮で美味しいレストランがたくさんある。けっして手を抜かない。言いわけは通らないから。これがアメリカの一級スノーリゾートである所以なんだろう。



Colorado Trip 3rd day

## スノーマス Snowmass

<https://www.aspensnowmass.com>

トレール数94本という、アスペンエリアでは最大規模を誇る、スノーマス。横幅が広く緩やかな中級斜面が多い印象があるが、山頂の「サークエリア」の標高は4,295メートル。そこから滑る醍醐味は、ここならではの楽しみだろう。山頂を訪れたスキーヤーのみが眺めることのできる「スノーマスマウンテン」の頂きと大パノラマ。頂きを眺めながらの滑走は、開放感と爽快感が交錯する、スノーマスならではの魅力のひとつだろう。

またこのスキーエリアの人気のひとつに、アプレスキー（アフタースキーアップ）がある。スキー場のスロープ沿いに開発されたリゾート施設。宿泊施設はもとより、レストラン、カフェ、ショッピングなどがひとつの中を形成しており、ここでのイベントは年齢層に関係なく充実して楽しめる。夕陽がゲレンデの空を紅く染めたら、それがアプレスキーオの開始の合図。山頂までゴンドラで上がれば、そこは老若男女、子供から大人まで楽しめるイベントの目白押し。カントリーの曲で踊る人も、ナイトマスの1日は長い。

そして炭鉱の街の歴史を色濃く残す、アスペンマウンテン。馬の背のように細長いコースが特徴の、アスペンハイラン。今回はアスペンマウンテンを中心に紹介したい。

アスペンマウンテン。馬の背のように細長いコースが特徴の、アスペンハイラン。今回はアスペンマウンテンを中心



Akira's Voice

標高がこれだけ高ければそりや疲れるよな、って感じる山頂レストランからの眺めは、最高。日本でのスキーしか知らない人が行けば、今まで自分のスキーが小さかったなって絶対わかるから行ってほしいスキー場のひとつ。また、炭鉱の街がこんなにおしゃれな姿を未だに残しているのかって感激する街もある。非現実的な世界が広がっている伝統のスキーリゾートだと思う。しかし、どこへ行っても毎日が刺激的すぎる。

Colorado Trip 4th day

アスペンマウンテン

# Aspen Mountain

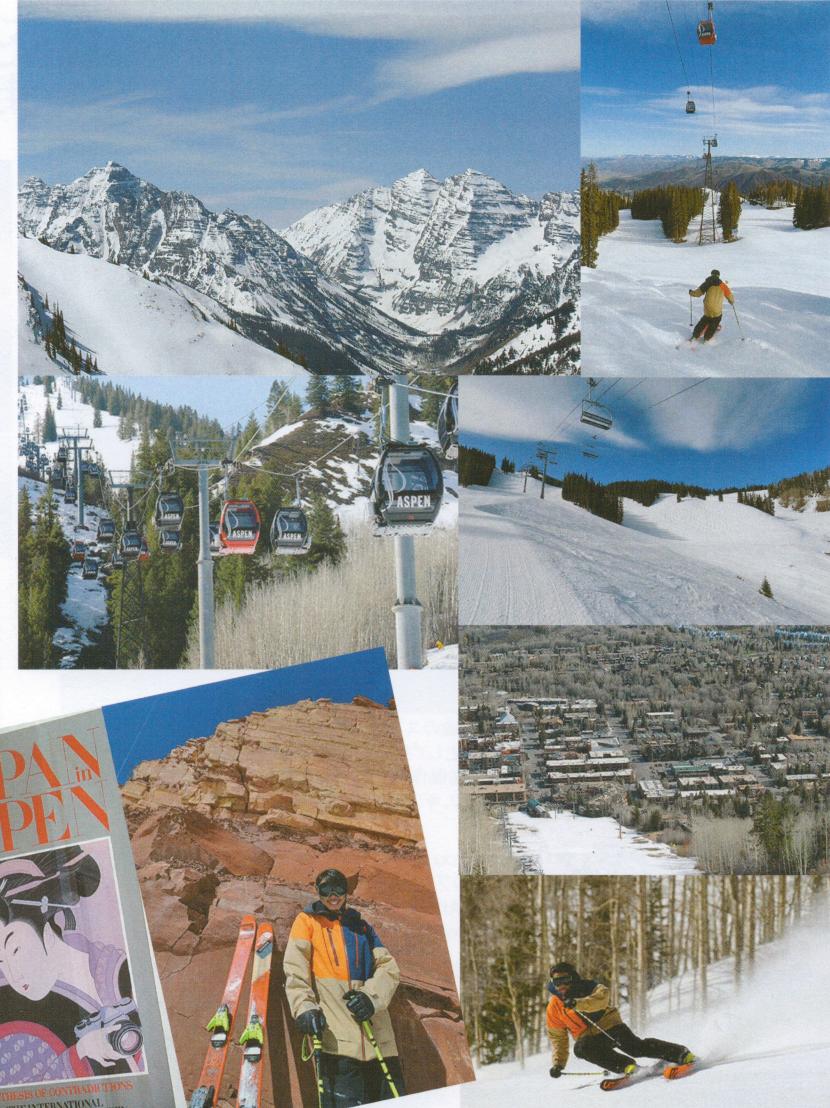
<https://www.aspensnowmass.com/our-mountains/aspen-mountain>

アスペンハイランド

# Aspen Highlands

<https://www.aspensnowmass.com/our-mountains/aspen-highlands>

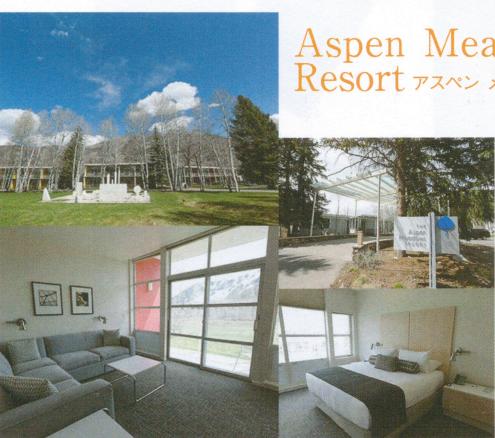
ゴールドラッシュ繁栄の時代を彷彿とさせる  
伝統のスキーリゾート



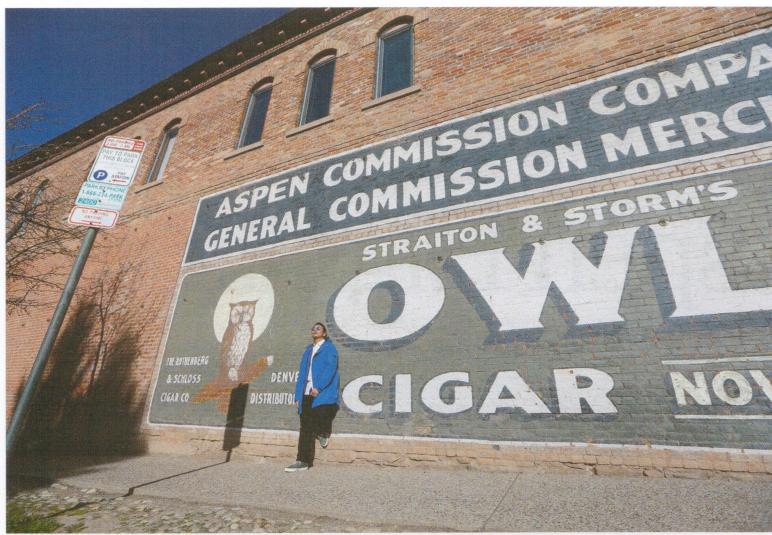
## Aspen Meadows Resort アスペン メドウズ リゾート

<https://www.aspenmeadows.com>  
845 Meadows Road  
Aspen, CO 81611, US

美しいロッキー山脈に囲まれた、アスペン メドウズリゾート。ドイツの合理主義的・機能主義的な芸術で知られるバウハウスのデザインで統一されたリゾートは、自然と機能性を重視したシンプルなレイアウト。床から天井までの窓、広々とした室内、小さいキッチン。自然の光と窓からの景色が宿泊客をリラックスさせることだろう。敷地内にある3カ所の異なるダイニングで食事を楽しむのもお勧めだ



アスペンマウンテンは、スノーマスから車で約30分ほどの距離にある。全米で2番目に古い歴史を誇るこのスキーフィールドは、かつては炭鉱の開拓地。開拓しているときに、スキーフィールドが造られたという歴史を持つ。急峻で難易度の高いゲレンデが広がり、世界選手権など多くの伝統ある大会が開催されている。山の地形をそのままに活かしたコースレイアウトは、エキスパートスキーヤーの鼓動を速め、手強いコブと急斜面は腕自慢たちをうならせる。これぞコロラドと言わせるトレインルートに、ぜひ挑戦したい。



いたるところがアートの宝庫。標高1,600mのデンバーは街全体が現代アート美術館のようである



2014年7月にリニューアルを終えた、1881年建造のユニオンステーション。デンバーのダウンタウンに位置し、大陸横断鉄道のアムトラックの駅舎として今なお多くの人々に愛されている。この建築はボザール建築と呼ばれる古典的建築様式の最高傑作。現在ではデンバー市内の交通網の中心としてだけでなく、10店のレストランやバー、ブティック、ギフトショップ、ホテル「ザ・クロフォード」が入っている

Thank you so much !!  
デンバー在住のプロンズ・アーティスト  
yositomo SAITOご夫妻と愛犬  
<http://www.yoshitomosaito.com>



ユニオンステーション内のレストラン。デンバーは地産地消でグルメの街。「Farm to Table」と言われる新鮮な食材を使った料理が提供される

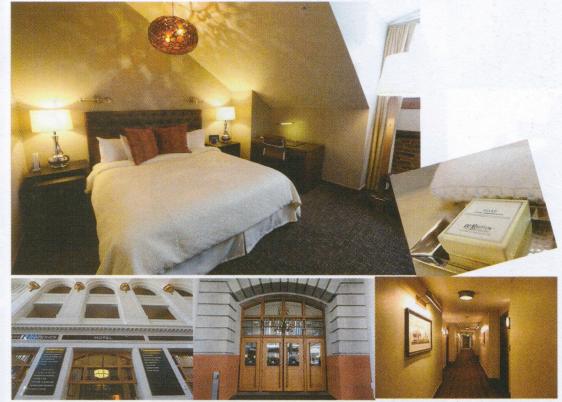
# Denver

デンバー(コロラド州)  
[www.visitcolorado.jp](http://www.visitcolorado.jp)

今回の旅の終着点  
マイル・ハイ・シティ  
歴史と芸術が融合した街

ザ・クロフォードホテル  
The Crawford Hotel  
<http://thecrawfordhotel.com>  
1701 Wynkoop Street Denver, CO  
80202, US

デンバーのダウンタウン、ユニオン駅舎内にある最新の高級ホテル、「ザ・クロフォードホテル」。112部屋ある客室の斬新な室内装飾は、古代ギリシャ・ローマ様式にルネサンス様式を取り入れた建築物にとてもミスマッチしている。レストラン、カフェ、スパ&サロンなど施設も充実しており、駅の喧騒とは無縁のリラックスした時間を過ごせるだろう。MLBコロラド・ロッキーズの本拠地クアーズ・フィールドへも2ブロックと観光にも便利なホテル



Akira's Voice

旅の最終地点は、コロラド州の州都デンバー。「The Mile High City」と呼ばれ、標高1,600mに位置する街。ロッキー山脈からわずか20km、コロラド・スキーの玄関口として、また環境にも優しい街として知られている。大自然に囲まれゴールドランチ時代に開拓された街は、今なお発展し続けているという。そのダウンタウンの交通拠点となるユニオンステーションは、まさに新旧の融合。モダンな建物のなかは、デザイナーズホテルのようなインテリア。何より目につくのは、いたるところに飾られたアート作品の数々。こんなすてきな場所に自分のオフィスがあったらと思う。最終日の夕食は、木下健二カメラマンの学生時代の友人であり、デンバー在住の銅を用いた作品で有名なアーティスト、Mr.yoshitomo SAITOの自宅へ夕食に招かれた。工房を兼ねた自宅では、日本では味わうことのできないバッファローのBBQとアート作品でもなしを受け、初対面とは思えないほど打ち解けた。アスリートとアーティスト、どこか共通するところがあるのかもしれない。まさにデンバーは自然と芸術のコラボの街だ。



観光地をめぐる際に利用したい「デンバー・パスポート」。市内の美術館や博物館を訪れた記念にしてはいかがだろうか

まさに「ザ・ベースボール」というエンターテイメントが観戦できる、クアーズ・フィールド。標高が高いため気圧が低くボールがよく飛ぶことで有名



ボーイング787ドリームライナー（B787-8型機）  
コロラド・トリップでの機材は、環境への配慮で二酸化炭素排出量の  
低減を実現した、「ドリームライナー」の愛称で親しまれる最新鋭機ボ  
ーイング787。快適な機内と行き届いたサービスで極上のフライトを  
楽しめる

## ユナイテッド航空

UNITED

[united.com](http://united.com)



エコノミークラスシートよりも、足元  
空間がゆったりとしている「エコノミー  
ープラス」



全席に設置されている、オンデマンド型  
エンターテイメントシステム



「ユナイテッド・ビジネスファースト」  
プライベート感を重視し、就寝時は  
水平になるフラットベッドシートが  
搭載されている

天空の  
時間を楽しむ  
オンデマンド型  
エンターテイメント  
システム搭載

ドリームライナーは環境への配慮だけではなく、機内の快適性をも  
両立。より地上に近い気圧と湿度、改良された換気システムに加え、  
大きな窓、広い頭上収納、揺れの少ないフライトを実現した主翼デ  
ザインにより、さらに快適な空の旅が味わえる。また、エコノミークラ  
スを含めた全席にオンデマンド型エンターテイメントシステムが設  
置され、映画やテレビ・音楽番組、ゲームなどが楽しめ、さらに機内  
Wi-Fiの導入（787-8への導入完了は2016年夏を予定）により、  
有料でのインターネットサービスやeメールの接続も可能。ロングフ  
ライトでも楽しみが尽きることはない。日々進化し続けるユナイテ  
ッド航空の天空の時間を満喫してみたい。



### 天空のグルメを味わう

ユナイテッド航空ならではの機内食も楽しみのひとつ。今年の6月より「ユナイテッド・エコノミー」でも、体  
調に配慮されたヘルシーでボリューム感のある3コースメニューが用意され、またビールやワインも無料でふる  
まわれる。快適な空の旅プラス、おいしい食事も堪能  
しよう。

#### 問い合わせ先

ユナイテッド航空予約センター：03-6732-5011  
マイレージプラス・サービスセンター：03-6732-5022

### Information

冬のコロラドへ ドリームライナーがデイリー運航  
アジアそして日本からデンバーへの唯一の直行便

#### 成田からデンバーへのフライトスケジュール

UA138	成田	18:10	デンバー	12:40	毎日	ボーイング787
UA139	デンバー	12:10	成田	16:30(翌日着)	毎日	ボーイング787

(上記は2015年12月1日現在、最新のスケジュールはunited.comで確認しよう)

成田から直行便で約10時間半  
快適なドリームライナーでコロラド州デンバーへ

### ボーイング787 ドリームライナー

米国本土7都市ヘデイリー直行便を  
運航しているユナイテッド航空では、成田  
からデンバーへ、日本そしてアジアでは唯一  
の直行便となるデンバー路線を毎日運  
航している。これによりコロラド州でのス  
キーがより身近になり、アクセスもぐっと  
便利になった。ロッキー山脈の西の玄関  
口、コロラド州デンバーへは、離発着の時  
間帯も使いやすく、約10時間半の快適、  
便利なフライトでデンバー国際空港に到  
着。そこからシャトルバスなどを利用すれば、到着日に滑ることも可能だ。またその他の路線においても、日本からの直行便  
が就航する米国本土の各空港経由で米  
国内はもとより、カナダ、中南米、アジアへ  
と豊富な乗り継ぎ便が利用できる。

### ユナイテッド航空なら より快適なエコノミークラスも

成田—デンバー路線には、通常のエコ  
ノミークラスに加え、さらにゆったりと足  
元のスペースが確保された、ワンランク上  
の「エコノミープラス」(united.comまたは  
チェックイン時までに購入可能)も用意さ  
れていて、マイレージプラスのプレミア会  
員は資格に応じて無料で利用できる。そ  
してビジネスクラスにあたる「ビジネスファ  
ースト」は、就寝時に全長約2mのフルフ  
ラットベッドシートが完備。座席はブライ  
ベート感を重視したレイアウトになってい  
る。ぜひ一度、「エコノミープラス」や「ユ  
ナイテッド・ビジネスファースト」を利用してみ  
てはいかがだろうか。